



ときがわ町産ヒノキを使用した 「3.11の当たり前風呂」を開催します。



【開催店舗】昭和レトロな温泉銭湯玉川温泉（埼玉県比企郡ときがわ町）

【開催日時】2018年3月10日（土）～3月11日（日）

■「3.11の当たり前風呂」とは

2011年3月11日に発生した東日本大震災からまもなく7年。本イベント企画者のインターン生尾崎（立教大学経営学部1年）は当時小学生で、福井で過ごしていました。連日テレビで流れる震災の状況を見て、被災者が仮設住宅で過ごし避難生活が強いられる中、尾崎は家で過ごすことができ、電気やガスがあることなど当たり前の生活を見直しました。ときがわ町も計画停電が行われていたため、ときがわ町の方々も当たり前の大切さについて考えたかと思います。しかし震災から7年経ち時間の経過とともに、当時震災から学んだ当たり前の大切さを忘れてきていませんか？そこで期間中、尾崎が気持ちを込めて書いた当たり前フレーズ全22種（東日本大震災で被害を受けた都道府県数 警察庁のデータより）の袋を背負ったアヒルが男女風呂に浮かびます。その数なんと311羽！埼玉県産（ときがわ町）ヒノキが入った袋に書かれた言葉を見ながら、日々の当たり前について見直していただけたらと考えます。

■本イベント開催の背景

尾崎が大学で温泉道場 代表取締役社長の山崎の講義を聞き、温泉道場に興味を持ったためインターンを希望したところ、地域振興に興味があることから配属先が玉川温泉になりました。そこで玉川温泉があるときがわ町に出会い、林業の厳しい現状を間近で見て、玉川温泉でもヒノキを使用したイベントが多かったため、尾崎もヒノキを使用したイベントを開催したいと考えました。本イベントは尾崎が玉川温泉でインターンシップを行い、1か月半勉強したことの集大成として開催されます。

また、弊社は過去にも母の日100のありがとう風呂や年賀状風呂など、ヒノキの間伐材を使った心温まるイベントを開催するとともに、施設内の木質化についても地元のヒノキを使いながら推進しております。

■本リリースに関するお問い合わせ先■

株式会社温泉道場 松澤 修／三ツ石将嗣

Tel: 090-2146-1835（松澤）／070-2829-3997（三ツ石）